

# 放射線科後期臨床研修医（レジデント）カリキュラム

## ■概要

当院における画像診断、核医学診療、放射線治療の大部分を担当している。常勤医3名は日本医学放射線学会専門医であり、当施設は日本医学放射線学会より認定を受けた放射線診断、放射線治療、核医学診療の3部門の放射線専門医修練機関である。短期研修希望者には将来専攻を希望する各診療科に必要な知識の修得に協力する。将来放射線科の専攻を希望する方には研修開始と同時に日本医学放射線学会に入会していただき、研修の終了時に放射線科専門医試験受験の熱意がある人材については当院常勤医師への採用を推薦する。また学位取得希望者には奈良県立医科大学放射線医学教室の研究生の手続きと学会発表、論文作成の指導を行なう。

## ■一般目標

日本医学放射線学会の専門医試験合格をめざして知識の修得、診断技術の修得に努めることは、当院での日常診療を担当する実力を十分凌駕するものである。

放射線科専門医試験について

放射線科専門医認定一次試験

受験資格：医師免許取得後3年以上で学会入会から2年以上

試験内容：1) 放射線診療全般（診断、核医学、治療）における基礎知識。

2) 臨床放射線科医としてわきまえておくべき放射線物理学、放射線生物学、放射線管理（放射線防御を含む）

放射線科専門医二次試験

受験資格：一次試験合格から2年間、修練期間、協力機関において診断・核医学または治療を研修したもの。「診断・核医学」、「放射線治療」のいずれかを選択して受験。

試験内容：1) 放射線診断学、2) 放射線治療学、3) 放射線管理

## ■個別目標

日常業務を常勤医3名、非常勤医2名で行なっているため、常勤医と同様の日常勤務をして臨床経験を積んでいただきながら、放射線診療全般（診断、核医学、治療）の基礎的知識を修得する。

### 1. 画像診断

CT、MRI、消化管造影検査、血管造影、IVR（Interventional Radiology）

単純撮影、乳腺撮影などの読影

### 2. 核医学診断

心臓核医学、脳血流シンチは循環器、脳卒中内科にお願いしているが、これら

を含め、研修指導。

3. 放射線治療

体外照射（大阪大学集学放射線治療学研究部の非常勤医が指導）

4. 当院で研修できないものについては奈良県立医科大学放射線医学講座、放射線腫瘍医学講座の関連施設において研修可能である。

密封小線源治療、PET(positron emission CT)など